# 関係者ヒアリング

#### (1)被害者等

対 ま:43人 ヒアリング参加:なし

【参考】アンケートの回答について

回答:21人

### 質問事項①

福知山の夏の由良川河畔での花火大会の開催について、お気持ちに一番近い ものを1つ選んでください。

	選択肢	回答数
1	花火大会の開催の是非について議論を始めるのは時期尚早	3. 0
	である	3.0
2	花火大会については、被害を受けた当事者の癒えない苦しみ	1 0
	を察して、開催しないでほしい	1. 0
3	雑踏や露店等の対策を講じたうえで、安心安全な花火大会が	10. 0
	開催されるのであれば構わない	10.0
4	事故で受けた痛みとその後の苦しみを思えば、積極的に賛成	2 5
	というわけではないが、反対はしない	2. 5
5	地域の判断で決めてもらって構わないので、これ以上意見を	3. 5
	求めないでほしい	ა. ე
6	その他	0.0
7	無回答	1.0

※選択肢を2つ選んでいる場合は、按分して回答数に反映している。

# 質問事項②

考える会で議論すべきこと、考える会に知っておいてほしいこと等、その他ご 意見等がありましたらご記入ください。

	回答内容(抜粋)	質問事項① の回答
1	他の被害者の皆さんの意見がどうかは分からないが、 花火大会を再開していただければと思っている。	選択肢 [3] [5]
2	当時の事故に関係なかった人や事故を聞くだけで体験 していない若者達は、地元のお祭り、花火大会の開催を 心待ちにしていると思う。記憶と記録をしっかり残し、 今後、事故が絶対に無いようにしてもらえれば、福知山 のお祭り、花火大会の復活をお待ちしている。	選択肢「3」
3	花火大会の事故の対応そのものに対してというより、 その時の主催者に対する不信感の方が大きい。	選択肢 「3」
4	今後安全対策を講じあのような事故が起こらないよう に全力を尽くしていただけるのであれば示談が済んで いることもあり、開催については関与しない。	選択肢「3」
5	携行缶の扱いを誤って起こした事故であるので、花火 自体は何ら関係がない。開催していただくことは大賛 成。	選択肢 「5」

## (2) 事故後に花火を打ち揚げた団体

対 象:3団体 ヒアリング参加:3団体

① 新春夢花火実行委員会

② 福知山 HANABI 実行委員会

団体名	主なヒアリング内容
——————————————————————————————————————	□事故前11年間に渡って約500発前後を打ち揚げていたが、
	事故後は、75 発以内で数回打ち揚げた。
	□事故前は事前に告知していたが、事故後は事前に告知して
	いない。
	○
	は1人で担当、残りのメンバーは見張りなどを担当した。
新春夢花火	□冬なので外は寒く、一ヵ所に滞在する方も少ない。過去に
実行委員会	渋滞や音無瀬橋で車が止まったことはない。
	□夏に実施したい気持ちはあるが難しいため、冬に違った形
	でやるというのも良いことだと思い、資金集めを頑張って
	いる。規模を一気に大きくしたいわけではなく、毎年ささ
	やかにずっと打ち揚げ続けたい。1月2日は花火が打ち揚
	がるイメージになればと思う。
	□令和4年8月13日午後8時から由良川河川敷で約800発
	の花火をシークレットで打ち揚げた。令和4年度の開催の
	目的は、アンケート調査によって多くの民意を集めるため
	のものであり、今後の開催に向けての機運醸成を図るた
	め。
	┃□独自で実施したアンケート調査に 3,177 件の回答があり、┃
	98.6%が花火大会をやってほしいとの回答であった。
福知山 HANABI	□福知山市の後援がない状態では道路交通法上の公益性が
実行委員会	ないとの判断に至るために通行止めの措置ができなく開
	催の安全性を確保できないと警察の指導があり、通行止め
	をしない状態とした上で雑踏が起きにくいシークレット
	で約 10 分間、約 800 発の実施とした。
	□警備員を 136 名(有志 76 名 警備員 60 名)配置し、露店
	対策や河川敷を封鎖するバリケードや安全看板を設置し、
	防火のための散水車を配備するなどの対策を講じた。
	□知りうる範囲での事故被害者の方との面談の上開催した。

□資金は自己資金と協賛金によりまかなった。
□責任所在を明確にするため一般社団法人 DOKKOISE を設立
した。
□今後の開催には堤防沿いに献花台も兼ねて伝承碑を移設
し、事故を風化させない形で開催したい。

※3団体のうち、1団体から資料への掲載許可が得られなかったため、団体名も含めて資料には掲載していない。